

バスケットボール 実施要項

1. 日 時

2022（令和4）年11月12日（土）～14日（月）

2. 会 場

東京体育館 メインアリーナ

3. 主 管

一般社団法人東京都バスケットボール協会

4. チーム編成

男子・女子共監督1名。選手は12名以内で編成する。なお、コーチ、アシスタントコーチ、マネージャーの3名を別途加えることができる。監督会議での報告をもって、監督、選手、コーチ、アシスタントコーチ、マネージャーは同一メンバーで全試合に臨むものとする。試合ごとの上記メンバーの変更は認めない。各都道府県選手団より男女各2チームまで参加することを認める。

5. 参加資格

- （1）**本大会の参加資格は、下記の通りとする。但し各都道府県選手団役員（団長、副団長、総監督・総務）、監督、コーチ、アシスタントコーチ、マネージャーはこの限りではない。**
- ①1980（昭和55）年4月2日から2007（平成19）年4月1日までに出生した者。
 - ②原則、2021（令和3）年5月1日からひきつづき当該都道府県に居住、または在勤・在学する者。
 - ③全日制高等学校の生徒は参加対象としない。
 - ④定時制または通信制高等学校、高等専門学校、各種学校の生徒は一般青年として参加できる。
- （2）**日本青年団協議会に加盟する都道府県青年団組織または各都道府県の大会窓口からの選出または推薦を受けた者。**
- （3）参加者は医師の健康診断を受け、健康であることが証明された者とする。
- （4）**過去において、次にかかげる大会（リーグ）に出場した選手の出場は認めない。**ただし、高校年代までの参加経験がある選手と、（オ）については出場から10年以上経過している選手は認める。
- （ア）国際競技会
 - （イ）全日本総合選手権大会
 - （ウ）全日本実業団選手権大会
 - （エ）JBL（JBL2）、WJBL

- (オ) 国民体育大会バスケットボール競技
 - (カ) 全日本実業団競技大会
 - (キ) 全日本社会人バスケットボール地域リーグチャンピオンシップ
 - (ク) bjリーグ
 - (ケ) NBL (NBDL)
 - (コ) 3×3. EXE PREMIER
 - (サ) Bリーグ
- (5) **国内外で職業競技者**（演技者・技術者）としての活動実績を有する者は本大会に**参加できない**。
- (6) **日本学生バスケットボール連盟に加盟する者**は本大会に**参加できない**。
- (7) **無資格の選手が参加していることが発見されたときは、当該チーム全体を失格とする**。

6. オーバーエイジ枠

参加資格に、オーバーエイジ枠（以下、OA（1980（昭和55）年4月1日以前に出生した者の参加を一部認める））を設ける。**OAの選手が参加する場合は登録選手のうち2名以内とする**。

7. 参加申込

締切期日をすぎた後の申込および変更は一切受け付けない。ただし、以下の場合はその限りではない。

- (1) 本人が病気、けがで入院するなど参加不可能の場合、医師の診断書を、10月14日（金）必着で大会本部に提出すれば参加登録は抹消する。なお、病気、けがなどの理由で参加登録抹消者が発生し、チーム全員の参加が不可能となった場合は、チーム全員の参加登録を取り消す。
- (2) 登録した監督、選手、コーチ、アシスタントコーチ、マネージャーの中で、**出場できなくなった者が発生した場合、参加者の入れ替えを認める。入れ替え登録は種目別監督会議まで認め、監督会議での報告を義務とする**。入れ替え後の氏名はプログラムには記載されない。なお、書類に不備がある場合は入れ替え登録を認めない。この場合、新たに入れ替え登録した参加者の大会参加費及び大会運営費、保険料は発生しない。**ただし、もとの登録人数を超えての入れ替え登録を行うことはできない**。

例：コーチと選手を兼任する1名が出場できなくなった場合、この人物と入れ替え登録が可能な人数は1名に限る。

8. 競技方法

- (1) **バスケットボール競技現行規則による**。
- (2) **トーナメント方式又は予選グループ方式ののち決勝トーナメント戦とする**。3位以下の決定戦は行わない。なお、主催者が前述の方法では日程が消化できないと判断した場合、新たな運営方法を用いる場合もある。この場合は、試合方法は10月半ばを目処に日本青年団協議会に加盟する都道府県青年団組織または各都道府県の大会窓口連絡した上で、プログラムに記載するとともに監督会議でも発表する。

- (3) 必要に応じて、競技時間を短縮することがある。この場合の競技時間は主催者において決定し、プログラムに記載するとともに監督会議においても発表する。
- (4) ベンチ入りが認められるのは、原則として監督、コーチ、アシスタントコーチ、マネージャーとし、参加チームのチーム代表者（都道府県選手団役員等）がベンチ入りを希望する場合は、事前に競技場内の大会事務局に申し出ること。なお、認められる人数は2名以内とする。

9. 参加上の注意

- (1) ユニフォームは、全員が同型・同色のものを濃・淡両方（淡色は白色が望ましい）用意する（ユニフォームの下へTシャツ等の着用は不可）。
- (2) 申し込みにあたり、**ユニフォーム（シャツ・パンツ）の前面と背面（濃淡両方）の写真を郵送またはメールにて大会本部まで送ること。未提出のチームは、監督会議にユニフォームを持参し、主催者のチェックを必ず受けること。**
- (3) ユニフォームに記載することができる文字は、**申込チーム名か都道府県名とする**。市区町村名をはじめとする地域名は、申込チーム名に入っていれば認める。企業名、商品名、申込チーム名と異なるチーム名の入ったユニフォームは認めない。ただし、上から別布で見えなくしたものは可。
- (4) ユニフォーム番号は、0（00）番から99番までの番号とし、ユニフォームの色と区別できる単色の番号をつける。また、異なるプレーヤーに同じ番号を用いてはならない。
- (5) **参加チームは、オフィシャルを担当する。**
- (6) ユニフォーム番号は監督会議まで変更を認め、以後の変更は認めない。

10. 表彰

- (1) ベスト4まで表彰し、賞状を授与する。
- (2) メダルは1位チームに金メダル、2位チームに銀メダル、3位チームに銅メダルを全員に授与する。
- (3) 1位チームには優勝旗とカップ、2位及び3位チームには盾を授与する。

11. 東日本大震災に伴う参加資格の特例について

震災による被害状況及び影響等を考慮し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域県（以下、「特例対象県」）とし、前記参加資格を満たした上で、当該被災地域県からの避難等により、2011（平成23）年3月11日以降移動せざるを得なかった場合、避難前に在住していた県から参加することができる。ただしこの場合、2011（平成23）年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住していた者であることを当該県選手団長が証明する書類を提出することを条件とする。なお、書式については別途指定する。

12. 第69回全国青年大会の延期および開催形態見直しに伴う参加資格の特例について

2020（令和2）年5月～2021（令和3）年9月に予選会を行い、全国青年大会への出場権を得たチームには、出場枠を付与する。なお当年度に限り、2020（令和2）年度および2021（令和3）年度全国青年大会への出場権を有していたチームに関しては出場チーム数の制限に含まない。

13. その他

- （1）原則として基準要項、体育の部要項に定めるところによるが、これらと種目別要項が異なる場合には種目別要項が優先される。
- （2）参加者は、大会本部または大会本部が指定した旅行業者を通じて宿舍を申し込む。宿舍と、航空券または乗車券等とを併せて申し込むことを希望する場合には、大会本部が指定する方法による。
- （3）監督・コーチ・アシスタントコーチ・マネージャーが2チーム以上を兼務する場合でも支払うチーム参加費に変更は無い。
- （4）記載のない内容については主催者で判断する。

**スポーツ振興基金助成事業**

独立行政法人日本スポーツ振興センター